

## 【今月の問い】

Q. ニュースダイジェスト **2024年7月号** で紹介した以下の記事を読み、以下の①～③について考えよう。

### ●太平洋・島サミット閉幕 首脳宣言発表

日本と太平洋の島しょ国・地域による「第10回太平洋・島サミット」が、首脳宣言と共同行動計画を発表して閉幕した。島しょ国が「存続にかかわる唯一最大の脅威」とする気候変動問題に関し、日本の支援強化を確認した。また、覇権主義的行動を強める中国を念頭に、首脳宣言に「武力や威圧による一方的な現状変更の試みへの反対」や、国際法に沿ったルールに基づく自由で開かれた国際秩序の重要性を明記した。日本としては中国が影響力を拡大している現状を意識し、島しょ国との協力関係を再確認した形。共同行動計画には自衛隊の航空機や艦船の寄港を通じた防衛協力や、海上保安機関の交流強化を盛り込んだ。首脳宣言には、東京電力福島第一原発の処理水海洋放出に関し「科学的根拠に基づくことの重要性で一致」と記載。今後も日本は透明性のある説明を続けるとした。

(ニュースダイジェスト 2024年7月19日より)

①海水面が上昇するメカニズムはどのようになっているだろうか？

②プラスチックごみを減らすためにどのような取り組みが行われているだろうか？

③島嶼諸国の問題とSDGs解決との関係をどのように考えればよいだろうか？

※次ページの解説も参考にしよう！



### 気候変動に具体的な対策を

「太平洋諸島フォーラム (Pacific Islands Forum: PIF)」は、1971年に開催された南太平洋フォーラムが、その発展に伴い2000年に名称を変更したものです。加盟国は、オーストラリア、ニュージーランド、パプアニューギニア、フィジー、サモアなど、16か国および2地域に及びます。その目的は、加盟国が直面する問題や課題に対処し、共通の目標を追求するために協力と連携を促進することです。2022年にPIFは「2050年戦略」を制定しました。これは、大きく7つのテーマがあります。(1)政治的リーダーシップと地域主義(2)人を中心とした開発(3)平和と安全保障(4)資源と経済開発(5)気候変動と災害(6)海洋と自然環境(7)技術と連結性、以上を戦略7分野として推進しています。わが国もこの取り組みに対して、資金や人材の援助を行うことになっています。特に最近では、気候変動に焦点が当てられるようになっています。では、気候変動と島嶼諸国との間にはどのような関係があるのでしょうか。

気温上昇は水温上昇を招きます。水温が上昇すると熱膨張により海水面が上昇します。ほかにも氷河の氷が融けるとその水が海に流れ込むことによって海水面が上昇します。このようにして、海水面が上昇することで、海拔が低い場所に平地が多い島国は、人が住む場所を奪われる危機に瀕しています。また、海洋は排出された二酸化炭素の約1/4を吸収する機能を持っていますが、排出される二酸化炭素量が増えているため、海洋に吸収される二酸化炭素が多くなっていて、これが海洋の酸性化を招いています。サンゴが死滅したり、貝類や甲殻類の発育が阻害されたりすることで、生態系に影響を及ぼしています。さらには、海水面が上昇することで美しい砂浜の景色が一変しています。この景色は貴重な観光資源なのですが、観光需要が低下することで、経済的に打撃を受けるようになってきています。海洋ごみの問題も深刻です。年間800万トンのプラスチックごみが海に流れこんでいると言われていますが、それらのごみが沿岸に漂着することで、環境の悪化や観光への影響、そしてなにより海の生物たちへ深刻な影響を与えているのです。

SDGs13番「気候変動に具体的な対策を」では、世界が一体となって温室効果ガスの排出を抑える努力や、新技術の開発を展開していますが、目立った成果が上げられているかどうかは疑問が残ります。また、SDGs14番は「海の豊かさを守ろう」です。プラスチックをはじめとしたごみを出さない、リサイクルする、といった取り組みを急がなければなりません。

これらの問題を速やかに解決に向かわせるためには、島嶼諸国だけでなく世界各国が一体となった強力な推進が求められるでしょう。